

病院理念

- ・常に人命の尊重と人間愛に基づいた医療・介護につとめます。
- ・全ての人に平等に心身両面にわたる医療・介護につとめます。
- ・地域の人達から信頼されるよう研鑽と協調をすすめます。

病院のホームページもご覧ください <http://www1.tst.ne.jp/wakaba/>

入院が決まった後はどうすればいいの？

入院前の面談

当病院の受け入れ態勢が整いましたら、入院可能な日時をご家族にご連絡致します。入院前に、当病院にお越し頂き入院のご案内（入院契約書類、荷物の説明等）をさせていただきます。

入院当日の流れ

入院当日のお迎え



ご家族に介護タクシーを手配頂きお越し頂くか、場合によっては当病院でお迎えに伺うこともあります。入院時間は、午前10時頃となります。

入院手続き



1階窓口にて入院の手続きをさせていただきます。手続き終了後、看護師等が病室までご案内させていただきます。

全身状態の把握



主治医が診察し、看護師が健康状態を観察します。また、ご本人とご家族に身体の状態等についてお話を伺います。

荷物の把握

介護職員が荷物の確認を行います。

私たちがお世話させていただきます



松本看護師長
(2階病棟)

「ようこそ当院へおいでくださいました」という気持ちでお迎えしています。また、病気が早く軽快しますように、そして安全で安楽に過ごしていただくことができますように心掛けています。



石黒看護師長
(3階病棟)

患者さんの残存機能を活かし、日常生活である清潔の保持、食事・排泄の援助を行っています。更に、心の余裕を持って患者さんの思いを聞き把握すると共に、看護師自身の感性を磨くため、笑顔、感動を忘れないようにしています。



病院の取り組み

褥瘡対策～床ずれ予防～

褥瘡発生の主な原因

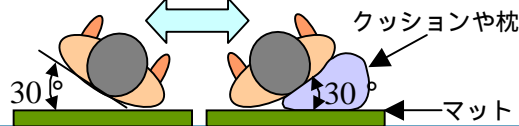
皮膚の圧迫
失禁や湿潤

皮膚のズレや摩擦
栄養不良

圧迫に対して

2時間毎に体の向きを変えて圧力を分散する
横向きの角度は30°がよい

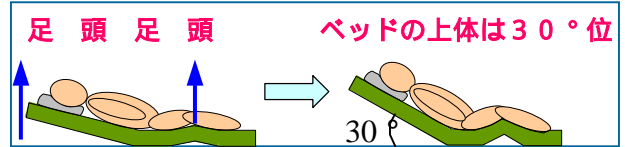
2時間毎に体の向きを変える



エアマットなど除圧マットを使用する
皮膚のマッサージは禁忌

ズレや摩擦に対して

ベッドの上体を起こす角度は30°位まで
足側 頭側 足側 頭側の順でゆっくり少しずつあげる



シーツや衣服にシワを作らない
バスタオルはシワがしやすいためできるだけ使用しない
オムツ交換や体位変換時に体を引きずらない
オムツ交換時にお尻（皮膚）を引っばらない

汗の多い人や失禁のある人に対して

皮膚が湿っていると抵抗力を弱くし、ズレによる皮膚の損傷を受けやすい
皮膚の清潔・乾燥を心がける
(体を拭く、入浴など)
オムツや寝具の工夫
(通気性がよくムレの少ないもの)



栄養に対して

栄養不良をおこさないように、バランスのとれた食事をする
タンパク質の多い物を食べる



14歳の挑戦！！



福野中学校の2年生3名が平成18年7月10日(月)から5日間、通所リハビリテーションにて「14歳の挑戦」に取り組みました。利用者さんの食事、入浴、移動などの手助けをしたり、レクリエーションに参加しました。
生徒たちからは、「お風呂で背中を流してあげて喜んでくれた」、「もつと積極的に会話ができればよかった」との感想がありました。

石村一声さんの慰問 ～舞や民謡を披露～

平成18年5月24日(水)通所リハビリテーションで、石村一声さんが、こきりこ節や麦屋節などの踊りや民謡を披露されました。こきりこの衣装を身に着け“ささら”を鳴らしながらの熟練した踊りは躍動感があり迫力が伝わってきました。また、民謡は麦屋節だけでなく全国各地の有名な民謡を解説を交えながら一節唄ってくださいました。

86歳の今も、病院や施設を訪問され、患者さんや利用者さんを癒し続けておられる姿はとても素敵で羨ましい存在です。

ご本人は「自分のことを『声のいい、楽しい人』と紹介してくれば良いよ。」と話されました。石村一声さんは富山県シニアタレント(民謡の部)、越中城端麦屋節保存会代表として活躍なさっています。



第2回ふくの若葉病院ミニコンサート

平成18年7月25日(火)1階エントランスホールにて、約30分間のミニコンサートを開催しました。

今回は、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団バイオリン奏者の大久保修さん、富山県在住で桐朋学園大学付属「子供の為の音楽教室」講師などをされているピアノ奏者の高森静香さんによるすばらしい演奏でした。

プログラムはブッチーニの「誰も寝てはならぬ」、私の父さんなどのクラシック曲だけでなく、アニメ映画の「千と千尋の神隠し」や「天空の城ラピュタ」の主題歌など、誰もが一度は耳にしたことのある曲も交えた親しみやすい内容で、大久保さんと高森さんの伴奏で民謡の「こきりこ節」、童謡の「海」や「七夕さま」を患者さんやご家族、職員で合唱しました。



病院探検 ～お風呂編～

ふくの若葉病院の入院患者さんは、2階病棟の機械浴室と3階病棟の一般浴室をご利用されます。

2階のお風呂は主に座位を保つことのできない方々に安心して入浴していただくことができます。特徴は、寝たまま手足を伸ばして、ゆっくりお湯に浸かることができ、泡の効果で血行が促進されます。



3階のお風呂は歩いて入られる方が転ばないように手すりが備え付けてあり、歩くことができなくても座位が保てる方が専用の椅子に座ったまま入浴していただくことができます。浴室には大きな窓があり外からの明るい日差しが入ってきます。



京田実とミュージックフレンドの慰問

平成18年5月30日(火)通所リハビリテーションで、“京田実とミュージックフレンド”による、コンサートが開催されました。NHKで演奏されていた京田実さん(バンドマスター)を中心とした息の合った演奏と、浅井彦市さん(代表)達による歌とトークでは、

「次郎長富士」、「星影のワルツ」、「だんな様」、など10曲以上が演奏されました。

また、進藤進さんがロープやハンカチを使ったマジックを披露されました。利用者さんや入院患者さんたちは、演奏される曲を口ずさんだり手拍子をして楽しみ、マジックショーでは不思議な世界に引き込まれているようでした。



七夕まつり



平成18年8月2日(水)当院の七夕まつりを開催しました。2階病棟と3階病棟の食堂ホールでは、すぎなの会の皆さんによる「大正琴と歌」、石村一声さんによる「舞と民謡」が、2部構成で開催されました。



すぎなの会メンバーにより「七夕さま」、「くちなしの花」、「釜山港へ帰れ」などが大正琴で演奏され、NHKのど自慢の予選を突破したことがある高見さんの歌声が披露されました。また、進行役の細川さんは患者さんと一緒に童謡を歌い、気持ちがこもったトークをしてくださいました。

石村一声さんが前回披露してくださった「こきりこ節」に加え、振り付けの解説をしながら「おわら節」を踊られると、患者さんはメロディーを口ずさんだり、手の振り付けを真似て楽しんでいらっしゃいました。

編集後記

立秋を過ぎましたが、まだまだセミが鳴き、ビールの美味しい季節が続いています。皆さん、夏バテしていませんか？創刊号がとても評判がよく、ついに第2号が発行されました。発行出来たのも皆さんの暖かい声があったからだと思えます。今後も皆さんのご期待にそえられるような内容になるよう努めていきたいと思えます。また、こんな特集を組んでほしいなどのご意見がありましたら広報委員までよろしく願います。

日本医療機能評価機構認定療養病院

医療法人社団 良俊会 [診療時間] 午前9時～12時
午後1時～4時

ふくの若葉病院

南砺市苗島367番地 TEL 23-1011 FAX 23-1020

ホームページ <http://www1.tst.ne.jp/wakaba/>

メール wakaba@p1.tst.ne.jp

